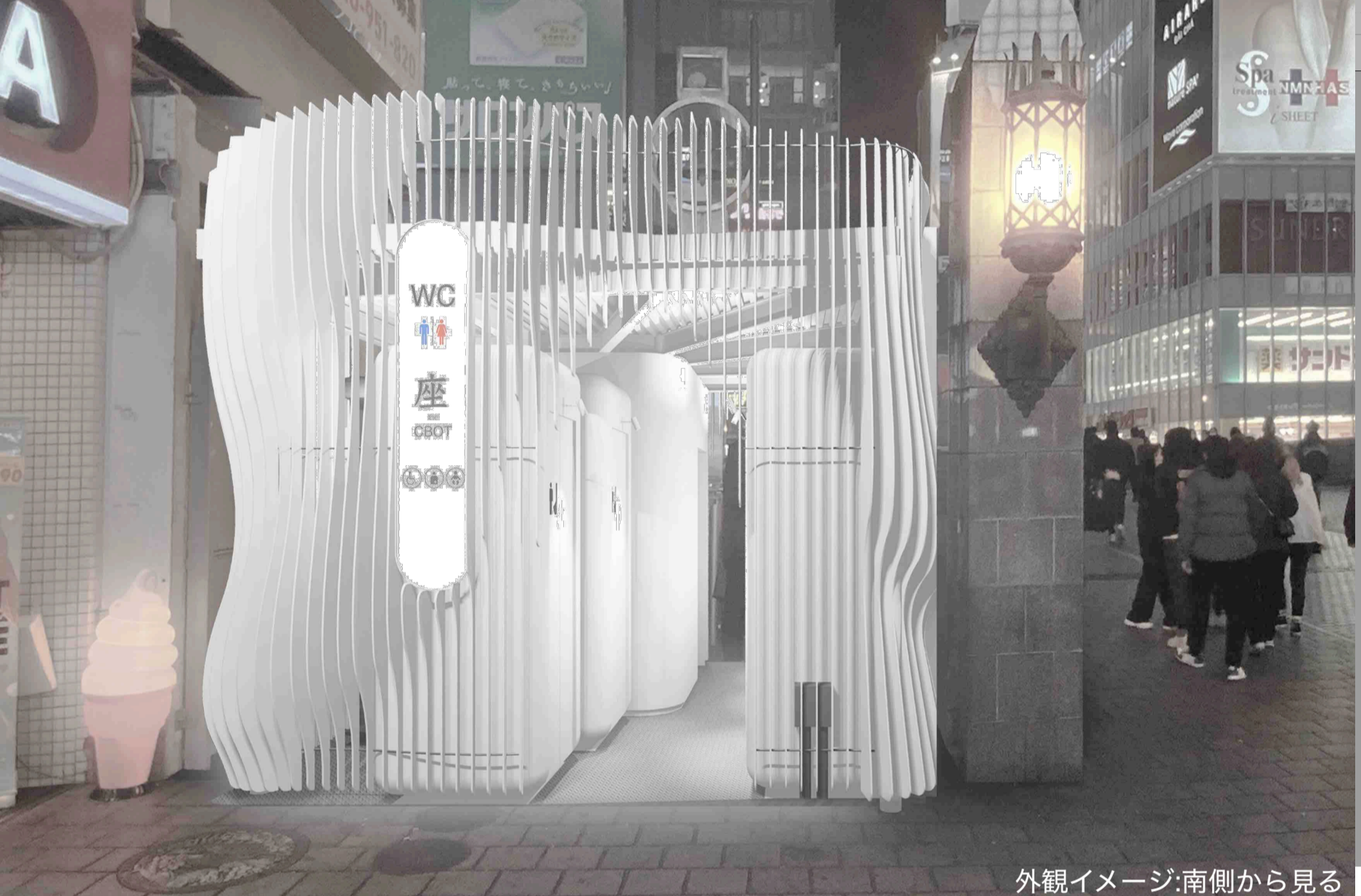
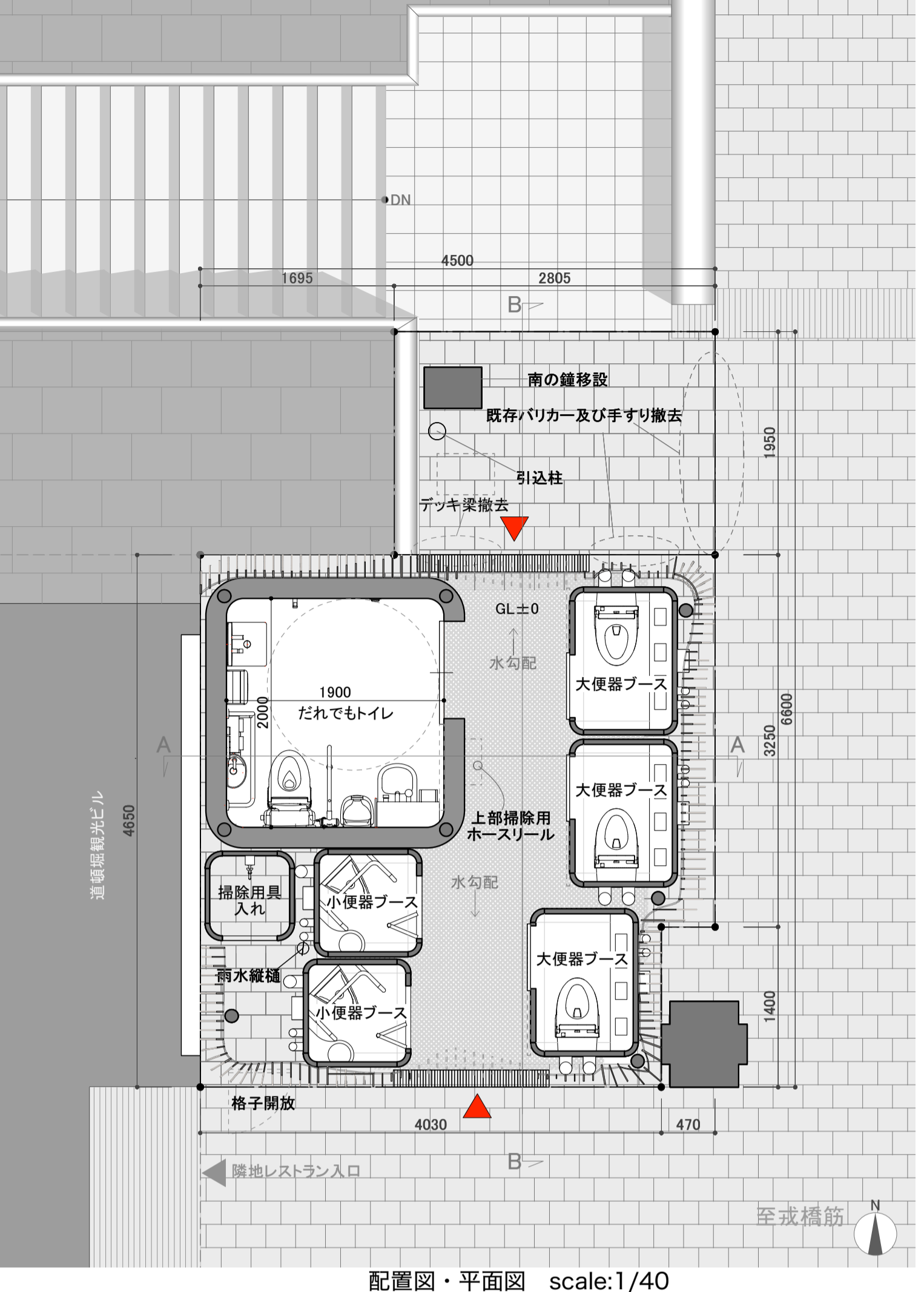


戎橋に新たな座が誕生する

古くから芸能文化が栄えたこの地には多くの"座"が存在した。新たに生まれ変わるこの公衆トイレも一つの"座"、個の集まりである。我々が提案するトイレには男子用トイレ、女子用トイレという概念がない。誰がどのトイレを利用してよい、個々の特性に応じて選択できるトイレである。誰にとっても欠かすことができない排泄行為、また多くの人にとって個になる瞬間である。全てを個室化し各ブースにおいて安全性や快適性の確保、衛生面などの懸念事項を解消していく。各ブースはモジュール化されたアルミパネルのユニットであり、部材の組み合わせによって大便器用ブースや小便器用ブースが作られる。工場で組み立てられた各ブースは現場にて配管接続される。そのため各配管はブース外部に設けられている。各アルミパネルにさまざまな機能を付加することにより、ユニット自体がバージョンアップしていくことができる。このシステムが世界に誇る Cool Beauty Osaka Toilet CBOT (クボット) である。このブースシステムCBOTを実現することで催し会場、博覧会、災害時にも利用することができる。近未来を見据えた持続可能なシステムの提案である。



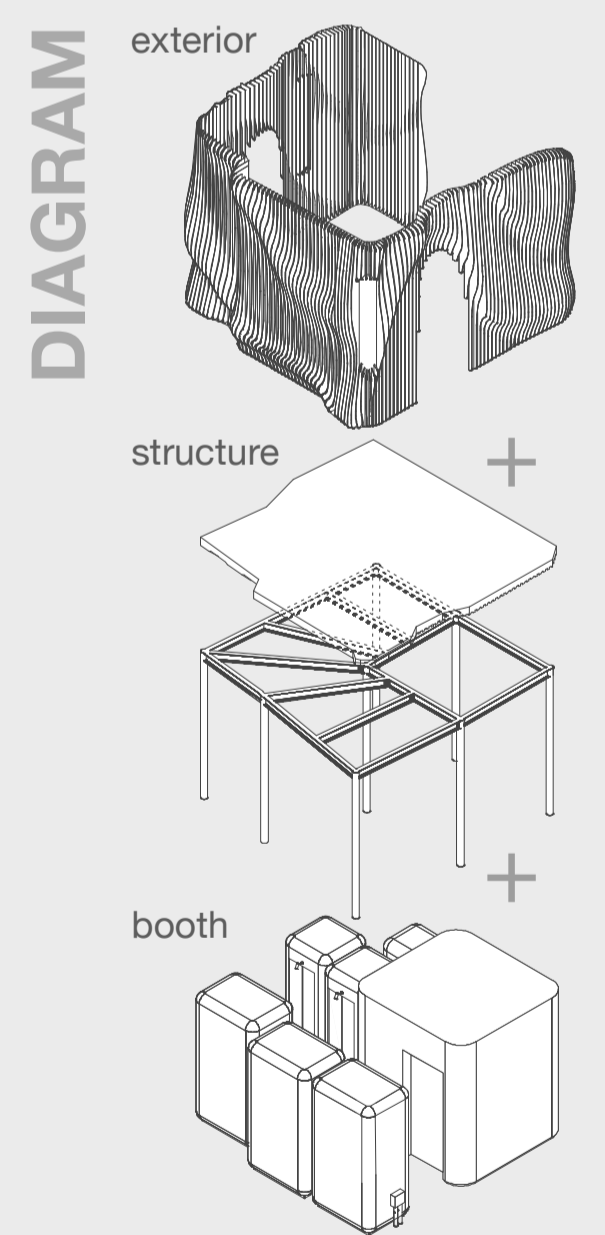
外観イメージ:南側から見る



外観イメージ:戎橋から見る

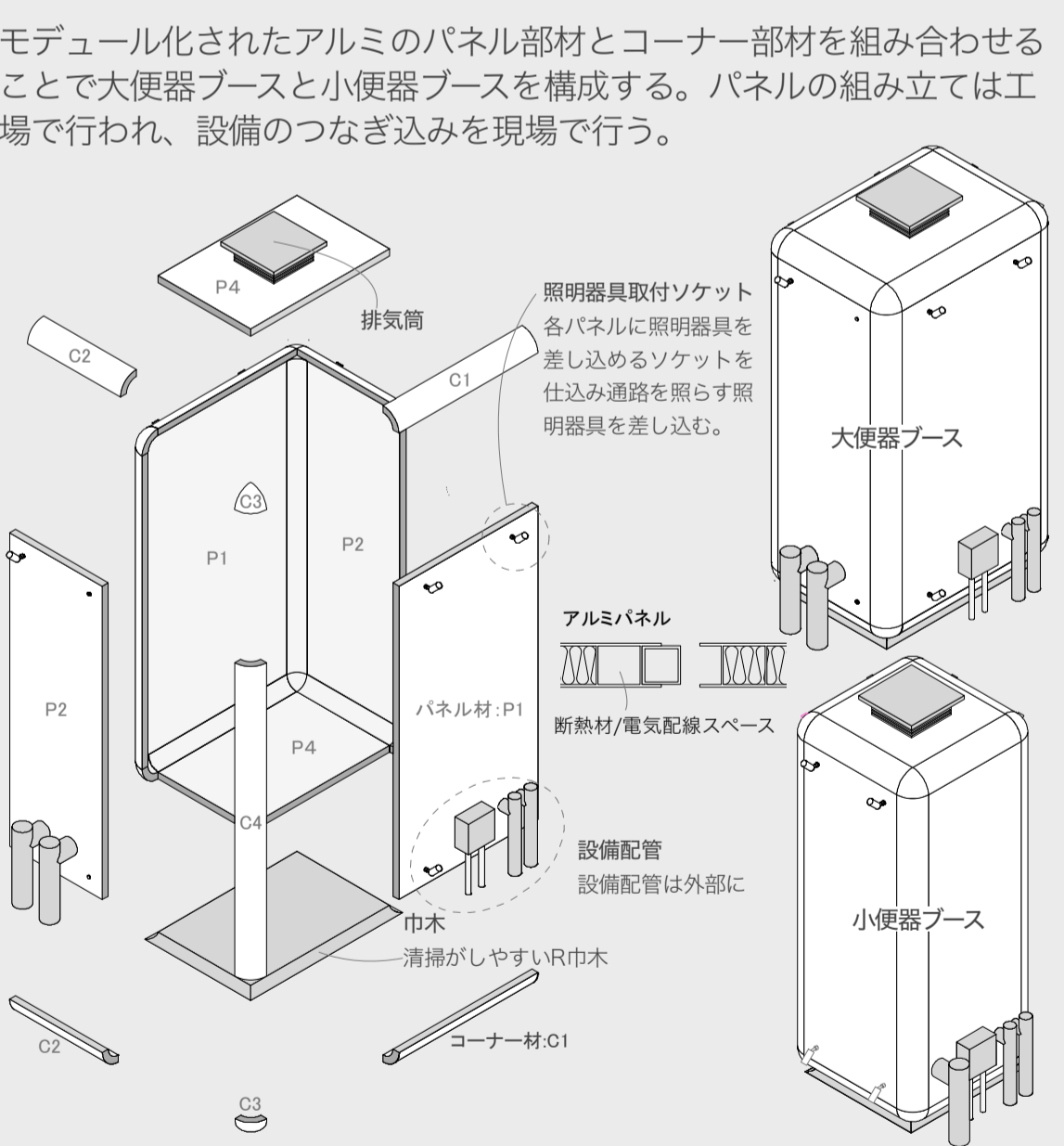


内観イメージ



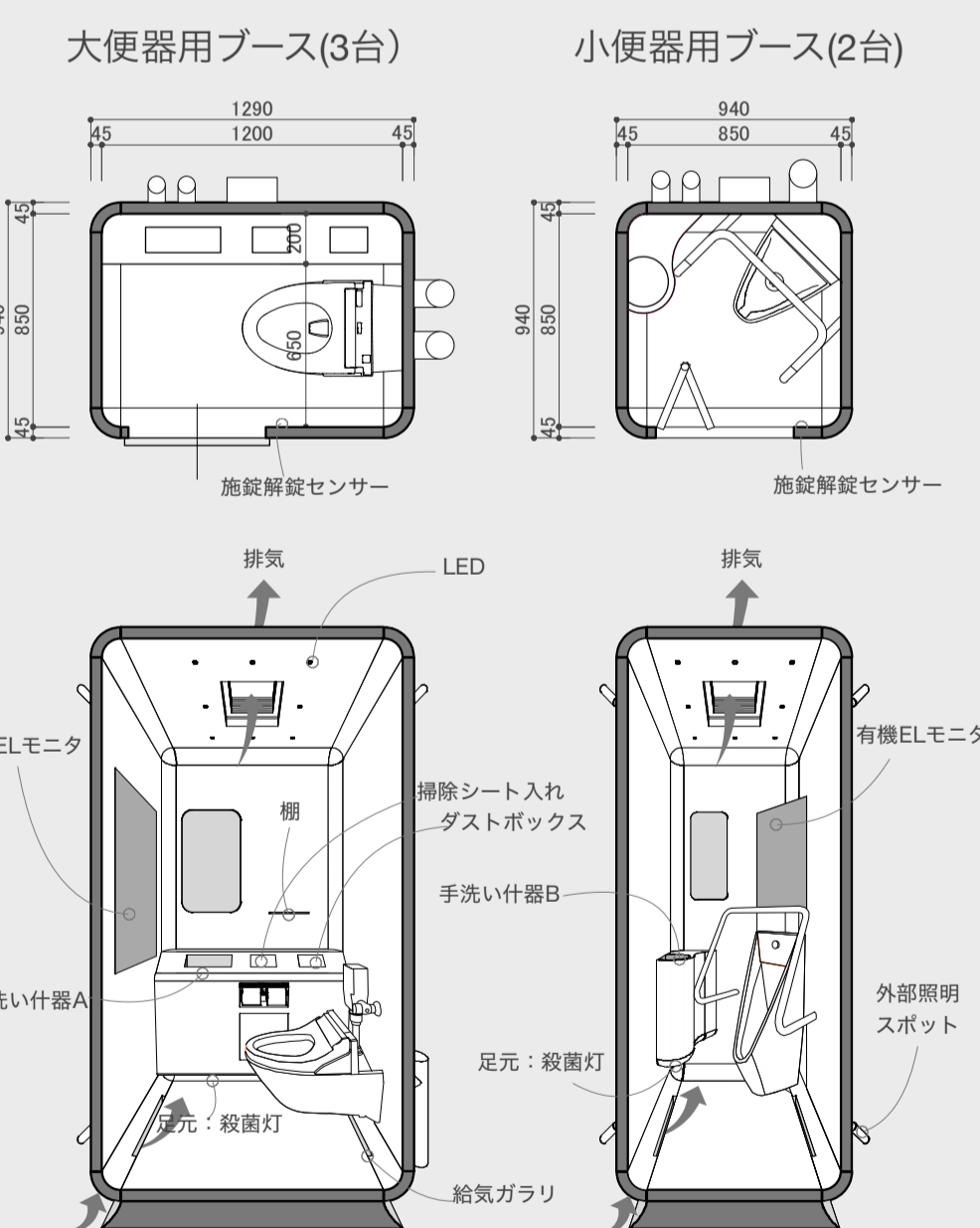
一つの集団を示し内外を柔らかく仕切る暖簾をイメージした外皮。アルミプレートを曲線型取り連続させることで暖簾が緩やかに揺れる形状を表現した。中が完全な死角にならないことで犯罪抑止への効果も期待できる。

外皮の内側には鉄骨の構造フレーム。このフレームからアルミ格子の支持を取る。屋根材はキーストプレート(耐火屋根デッキ)を採用し、天井材と兼ねる。独立したブースに鉄骨フレームと外皮を組み合わせ座・クボット - the CBOT - が完成する。



CBOT: Cool Beauty Osaka Tiolet

安全性を確保し快適に過ごせる最小限の空間を提案する。非接触で開閉を行う自動扉を採用し、使用時のみ扉を閉めることで安全性と衛生面に配慮している。不使用時は足元の殺菌灯が点灯し、紫外線による除菌を行う。下部給気口から取り入れられた新鮮空気は上部へと抜け、常に空気の循環が行われる。ブースの中にシステム仕器を組み込むことでトイレに求められる機能を満たす。自動洗浄から乾燥まで行う手洗器、非接触で開閉できるダストボックスと汚物入れなどがシステム仕器に組み込まれている。使用後には便器に無香料の瞬間消臭剤を散布する。有機ELモニタが組み込まれたパネルを採用することで観光案内などの各種情報を提供することが可能になり、将来的には携帯端末の情報からトイレ利用者の嗜好や国籍を判別し、利用者に応じたコンテンツを提供することもできる。トイレを維持管理する方法として、綺麗に利用した人や清掃行為をした利用者には地域通貨を付与するシステムを採用することも可能である。パネルにオプション機能を付加することで時代のニーズに応じたブースを提案することができるポテンシャルの高いシステムである。また金型を作成し量産化することで、コストは抑えられる。



SPEC

計画概要

構造: S造 最高高さ: 3.5M

建築面積: 16.87㎡ 延べ床面積: 16.87㎡

ブースA: 1.10㎡ ブースB: 0.79㎡

だれでもトイレ: 4.48㎡

仕上げ表

外装

格子: アルミ t9 焼付塗装

ブース壁: アルミプレート

だれでもトイレ壁: SUS

床: インターロッキング

内装

床: SUSチェッカープレート

ブース壁・天井: アルミプレート

だれでもトイレ壁・天井: アルポリック貼

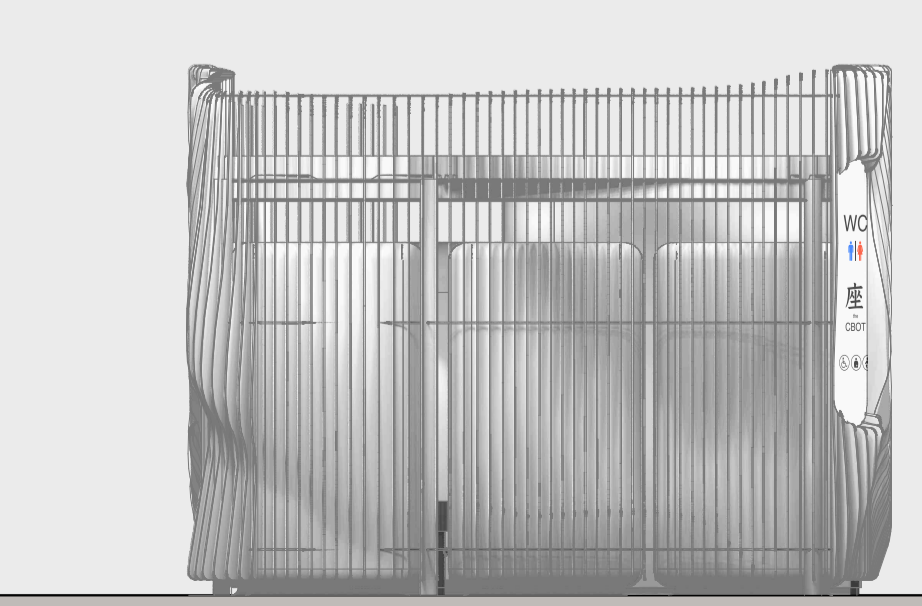
概算工事費

建築工事費		
主体工事費	一式	19,000,000
外構工事費	一式	27,000,000
設備工事		
機械設備工事	一式	8,000,000
電気工事	一式	6,000,000
諸経費		
共通仮設費	一式	6,000,000
現場仮設費	一式	3,960,000
一般管理費	一式	2,640,000
合計		72,600,000
消費税		7,260,000
総合計		79,860,000

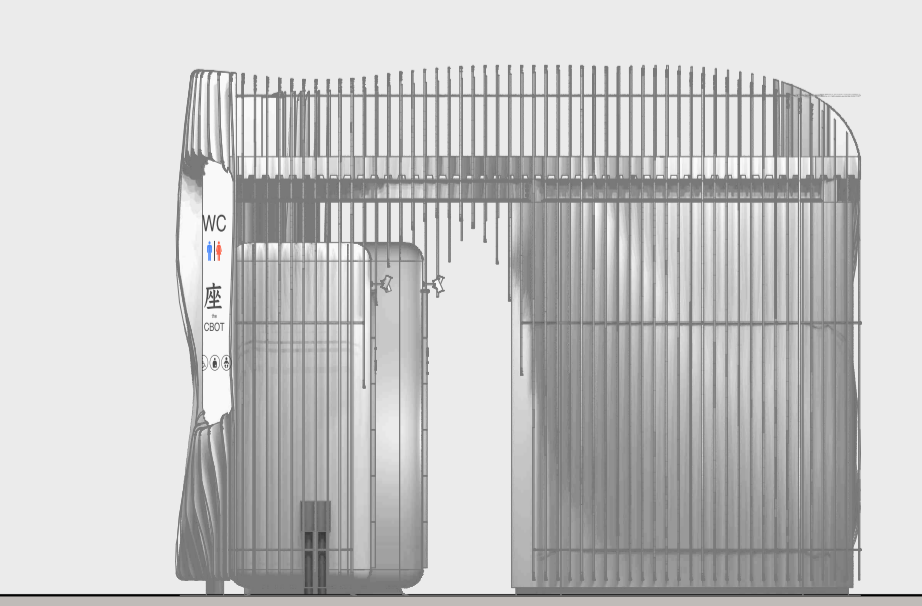
*各ブース金型費用は建築主体工事に含む。
この金型を利用し量産化体制を取ることによってコストは40%程度になると想定される。
*外装アルミ格子は外構工事に含む。場所性からのイメージを表現するために採用したものであり今後のCBOTの展開には単体としての利用や場所に合わせた外皮の提案が想定される。



南立面図

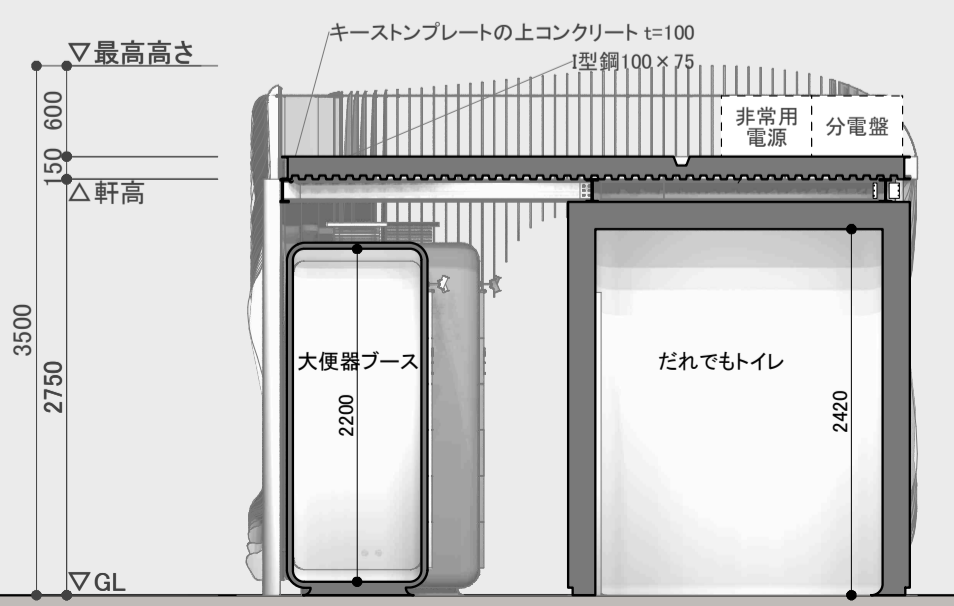


東立面図

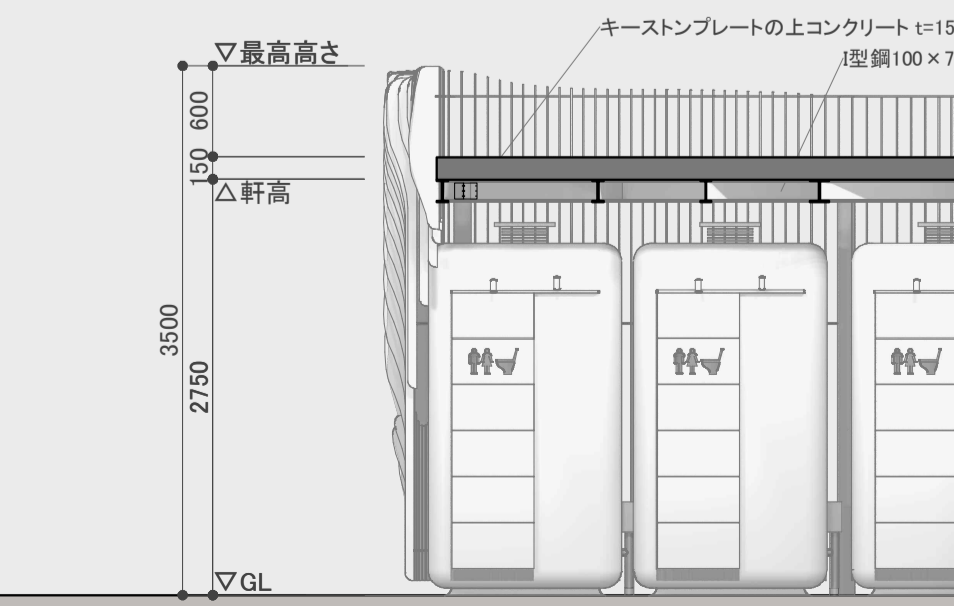


北立面図

scale:1/50



A-A断面図



B-B断面図